



## 大学図書館問題研究会京都支部 第28回京都支部総会のご案内

大図研京都支部会員の皆様へ

支部総会を下記の要領で開催致します。総会終了後には情報交換会が予定されております。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

### 記

日時：7月22日（金）午後7時から8時（終了後、会場にて情報交換会があります）  
場所：光琳（京都市東山区宮川筋3丁目285） 電話 075-541-8050

### 会場へのアクセス

京都市バス 四条京阪前バス停より 徒歩5分 （停車する主な系統：201,203,207）  
京阪四条駅より 徒歩5分  
阪急河原町駅より 徒歩8分

### 歩き方

- ・ 阪急河原町駅下車の場合  
四条通を東へ → 四条大橋を渡る （以下は京阪、市バスと同じ）
- ・ 京阪四条駅、京都市バス四条京阪前下車の場合  
四条大橋東側交差点 → 川端通を南へ → 一つ目の信号を通過（団栗橋東側）し、次の角を左折（東へ） → 一つ目の角を右折（南へ） → すぐ左手（東側）に光琳

※ インターネットへ接続できる環境のある方は、「ぐるなび」で「光琳」を検索していただければ、周辺地図を見ることができます。

### [目次]

第28回京都支部総会のご案内	…	1
大学図書館問題研究会第28回京都支部総会議案	…	2

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたはURLへお寄せください。

電子メール：dtkk@rg7.so-net.ne.jp （大学図書館問題研究会京都支部）

URL：http://www009.upp.so-net.ne.jp/dtkk/index.htm

## 大学図書館問題研究会第28回京都支部総会議案

### 【第1号議案】2004年度(2004.7~2005.6)活動総括及び

### 2005年度(2005.7~2006.6)活動方針

はじめに

近年の情報通信技術の発達により図書館で扱う資料の種類が多様化、マルチメディア化するとともに情報(デジタル情報)そのものを取り扱うようになってきました。また情報ネットワーク環境のもとでは情報の収集・保存・流通・提供のあり方が大きく変容し、とりわけインターネットの普及は利用者の情報入手行動や情報ニーズのあり方も変えつつあります。これに対応するには、従来の技術に加え、新しい技術を適切に使い分け、活用することにより、サービスの拡張に取り組み、利用者のニーズに応えなければなりません。そのためには情報・資料と利用者を結びつける仕組みを革新していくことも必要になってきます。

このような状況下において、現場の図書館員は、予算と人員の抑制という問題をかかえつつ、サービスの多様化、高度化を迫られています。このような時にこそ、図書館員ひとりひとりの専門的力が問われています。

個々の図書館員の能力のレベルアップをはかるためには、雇用形態を問わず、すべての図書館員が協力し合い、情報の交換や研修の機会が継続的に提供されることが必要です。そのことが結果として利用者へのサービス向上につながることを図書館内外に積極的にアピールしていかなければなりません。また、利用者や書店・出版関係者とも積極的に交流等、幅広い人的ネットワークを育み、良好な協力関係を築いていくことが必要です。

大学図書館問題研究会京都支部では、このような状況を踏まえ、図書館員のより高度な力量形成に向けて活動を展開して来しました。

#### 1. 2004年度活動総括

##### (1) 研究交流活動

2004年9月25日に京都ワンディセミナー「第三者評価時代の研究者支援:引用データベースと特許データベース」を開催しました。講師として遠山美香子氏(トムソンサイエンティフィック)と渡辺麻子氏(トムソンサイエンティフィック)をお呼びしました。プログラム前半の講師2人による講演を受け、後半は活発な質疑応答のうち終了しました。

2005年1月22日に京都ライブラリアン・セッションを開催しました。個々の会員がもつ知識やスキル・経験を共有することによって、より深く広く伸ばしたいという考えのもとに、事前に発表者を募り、4名の報告者に発表していただきました。

第1報告として、福井京子氏(京都大学教育学部図書室)が「May I help you?: プッシュ型のレファレンスサービス」を、第2報告として、進藤達郎氏(京都大学工学研究科・工学部物理系図書室)が「学部・学科図書館における電子図書館サービス」を、第3報告として、吉野貴庸氏(京都精華大学情報館)が「大学図書館のボロイングポリシー: 貸借資料の複写可否」を、第4報告として、江上敏哲氏(京都大学情報学研究科図書室)が「見たい! 行きたい! 海外図書館: どう準備し、実践するか」を発表された後、活発な質疑応答がありました。

2005年5月14日には「ILL 業務」をテーマとした京都ワンディセミナーを開催しました。第1報告として井上雅人氏(立命館大学総合情報センター)が「立命館大学における図書館相互協力の現状と課題」を、第2、第3報告として大綱浩一氏(京都大学附属図書館)が「京都大学附属図書館におけ

る「ILL業務の現状」および「海外ILLのすすめ」と題する報告をおこないました。参加者数は26名でした。

セミナーの開催回数については、当初の目標を達成できました。また、内容については、京都ライブラリアン・セッションのように会員の実践発表の機会を提供し、好評を博しました。しかし、広報期間が短かったこと、セミナーの開催を新入会員の獲得につなげられなかったことは反省点として挙げられます。

## (2) 支部報

新しい会員から退職者まで、執筆者の幅を広げることに努めるとともに、支部委員が積極的に執筆することを心掛けました。内容も全国大会や支部総会、京都ライブラリアンセッション等の報告・感想記事、会員の近況報告、図書館利用者教育、海外図書館事情などバラエティに富んだものになりました。編集体制の強化をはかり、紙面の充実をはかってきましたが、定期発行が守られなかったことが反省点として挙げられます。

また、従来、大学宛にまとめて発送していた分については、これをすべて個人宛(職場・自宅)の発送に切り替えました。

## (3) ホームページとメーリングリスト

支部委員会報告や行事の案内などコンスタントに情報を会員に提供するように努めてきました。速報的なものはメーリングリスト、より詳しくまとめたものはホームページというふうに使分けられることによって効果的な広報を心がけてきました。また、今年度はメールマガジンを創刊しましたが、2号の発信までかなりの時間が空いてしまったことが反省点として挙げられます。

## (4) 支部規約

京都支部は1978年10月21日(土)に結成されて以来、現在まで27年間支部活動を続けてきました。結成当初から、支部の運営は基本的には「大学図書館問題研究会」の会則に準じておこない、支部の会則をつくらずに活動してきました。しかし、会員に対しても、対外的にも、支部活動の内容を明確にするうえで会則を制定したほうがよいと支部委員会で判断し、ここに「大学図書館問題研究会京都支部規約(案)」を提案し、2005年1月22日の臨時総会で承認されました。

## (5) 組織活動

会員数は87名(2004年5月現在)から81名(2005年6月現在)と6名減少しました。会員数変動の内訳は入会者3名、他支部からの転入者2名、退会者11名です。新規会員の獲得については、あらゆる機会をとらえ、積極的に勧誘を努めてきましたが、引き続き、組織的な取り組みが必要です。

## (6) 財政活動

財政活動については、支部委員会として毎月状況を把握するとともに、前年度に引き続いて積極的な会費納入の働きかけを行っているところです。

また、今年度から、財政と組織を1本化して3名体制で立て直しをはかりました。会費納入率を向上するため、次の方策を実施しました。

- (1) 個人別会費納入状況のお知らせを個々の会員に発送する。
- (2) 振込用紙を個々の会員へ発送する。

(3) 会費の振込料については、支部で負担する。

## 2. 2005 年度活動方針

### (1) 研究交流活動

会員のニーズに応えた研究活動の充実をはかり、会員の専門的力量形成に役立てるため、セミナーを2回以上開催します。また会員間のコミュニケーションを促進するため支部報の発行、ホームページの充実、メールマガジンの発行など、一層の努力をします。

積極的に会員間の交流の機会をつくることに努めます。

### (2) 支部報

定期発行に努めます。

会員の多様なニーズに応え、各人のスキルアップに貢献できる内容になるよう努力します。

読みやすい紙面づくりを心がけます。

できるだけ多くの人に執筆していただけるよう努力します。

### (3) ホームページ・メーリングリスト・メールマガジン

京都支部の活動に関する情報をわかりやすく提供するために、ホームページのリニューアルを行います。

会員の親睦と交流を盛んにするための媒体として、メーリングリストを効果的に活用できるよう努力します。

また会員に対して、支部の活動状況を迅速にお知らせする媒体として、メールマガジンを、今後は定期的に発信するように努力いたします。

### (4) 組織活動

大学図書館問題研究会および京都支部の活動を説明し、会員を増やす活動を進めます。

例えば、セミナーなどあらゆる機会をとらえ、入会の勧誘に務めます。

そのために魅力ある企画を立てるように努力します。

### (5) 組織活動 (会費)

前年度より開始した個々の会員への個人別会費納入状況のお知らせや振込用紙の発送を今年度も引き続き行い会費納入率の向上に努めます。

財政活動を一層前進させるため、支部委員会において、毎回担当者から報告と提案を受け、全員で取り組みます。

また、個々の会員にあらゆる機会をとらえ積極的・直接的に声をかけ、会費納入をはたらきかけます。

(以下の議案は当日配布)

【第2号議案】2004年度決算報告活動総括 及び  
2005年度予算及び会計監査報告

【第3号議案】2005年度支部役員選挙